

平成25年度 事業報告書

自 平成25年 4月 1日
至 平成26年 3月31日

学校法人 尚美学園

目 次

	頁
I 法人の概況	
1. 設置する学校・学部・学科等	1-2
2. 役員の概要	3
3. 教職員の概況	3
4. 学校法人の沿革	4
II 尚美学園大学 事業報告	
1. 当年度の事業の概要	5
2. 諸活動報告	5-7
3. 主な予算執行	7-8
III 尚美ミュージックカレッジ専門学校 事業報告	
1. 当年度の事業の概要	9-10
2. 諸活動報告	10-11
3. 主な予算執行	11-13
IV 設備の状況	
1. 主要な設備の状況	14
V 財務の概況	
1. 資金収支計算書	15
2. 消費収支計算書	16
3. 貸借対照表	17

I 法人の概況

1. 設置する学校・学部・学科等

(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学校名	所在地 (電話番号)	学部・学科等			入学 定員	収容 定員	学生数	
							1 年	10 人
尚 美 学 園 大 学	埼玉県川越市 豊田町 1-1-1 (049-246-2700)	修士	総合政策研究科	政策行政専攻	10 人	20 人	1 年	10 人
							2 年	13 人
							計	23 人
		学士	総合政策学部	総合政策学科	180 人	800 人	1 年	181 人
							2 年	159 人
							3 年	194 人
							4 年	209 人
							計	743 人
				ライフマネジメント学科	180 人	640 人	1 年	232 人
							2 年	186 人
							3 年	174 人
							4 年	219 人
							計	811 人
		修士	芸術情報研究科	情報表現専攻	10 人	20 人	1 年	10 人
							2 年	9 人
							計	19 人
				音楽表現専攻	10 人	20 人	1 年	21 人
							2 年	13 人
							計	34 人
		学士	芸術情報学部	情報表現学科	160 人	700 人	1 年	214 人
							2 年	194 人
							3 年	175 人
							4 年	193 人
計	776 人							
音楽表現学科	140 人			540 人	1 年	158 人		
					2 年	144 人		
					3 年	143 人		
					4 年	197 人		
					計	642 人		
合 計					690 人	2,740 人	3,048 人	

学校名	所在地 (電話番号)	学部・学科等		入学 定員	収容 定員
尚美ミュージックカレッジ専門学校	東京都文京区 本郷 4-15-9 (03-3814-8761)	音 楽 専 門 課 程	ピアノ学科	30 人	60 人
			電子オルガン学科	30 人	60 人
			管弦打楽器学科	80 人	200 人
			ポップ・ソング・ヴォーカル学科	40 人	80 人
			ヴォーカル学科	80 人	140 人
			プロモーション学科	120 人	240 人
			アレンジ・作曲学科	80 人	160 人
			ミュージカル学科	40 人	100 人
			ダンス学科	40 人	100 人
			声優学科	80 人	180 人
			音響・映像学科	80 人	200 人
			ミュージックビジネス学科	80 人	200 人
			音楽総合アカデミー学科	60 人	300 人
合 計			840 人	2,020 人	

2. 役員概要

(1) 理事及び監事（理事の定員：9名、外部理事：うち3名）

(平成26年3月31日現在)

役職	氏名	担当職務	現職
理事長	松田 義幸		大学学長
専務理事	渡辺 省吾	財務・事務担当	法人本部長
理事	野口 浩志	教学担当	専門学校学校長
理事	柳沼 雅彦	事務担当	大学事務局長
理事（外部）	高橋 利幸	学校運営担当	音楽家
理事	坂本 邦彦	教学担当	大学総合政策学部長
理事	皆川 弘至	教学担当	大学副学長・芸術情報学部長
理事（外部）	高山 弘憲	渉外担当	会社役員
理事（外部）	潮木 守一	学校運営担当	名古屋大学・桜美林大学 名誉教授
監事	込山 進		
監事	竹田 剛志		税理士

(2) 評議員（定員：19名）

平成26年3月31日現在、評議員の総数は19名。

3. 教職員の概況

教職員数(人)

(平成25年5月1日現在)

区分	大 学		専門学校		計
	教員	職員	教員	職員	
本 務	75	74	36	74	259
兼 務	267	0	300	1	568
合計人数	342	74	336	75	827

4. 学校法人の沿革

1926 (大正 15) 年	音楽家赤松直氏 私塾「尚美音楽院」を開設
1954 (昭和 29) 年	音大受験科開設
1959 (昭和 34) 年	尚美高等音楽学園各種学校許可受領
1967 (昭和 42) 年	学校法人尚美高等音楽学園として認可
1972 (昭和 47) 年	学校法人尚美学園尚美高等音楽学院に改称
1974 (昭和 49) 年	財団法人音楽教育研究所が本学園に移管
1976 (昭和 51) 年	専修学校制度の発足に基づき、尚美高等音楽学院、専門学校認可 ディプロマコース開設
1981 (昭和 56) 年	尚美音楽短期大学開学 (音楽学科・音楽情報学科)
1983 (昭和 58) 年	尚美高等音楽学院に音楽音響マスコミ専門課程設置 財団法人日本音楽教育文化振興会設立 (財団法人音楽教育研究所を改組)
1984 (昭和 59) 年	東京音楽音響マスコミ専門学院を設置
1985 (昭和 60) 年	尚美高等音楽学院を「東京コンセルヴァトアール尚美」に改称 東京音楽音響マスコミ専門学院を「東京音楽音響ビジネス専門学院」に改称
1986 (昭和 61) 年	尚美音楽短期大学を「尚美学園短期大学」に改称 (音楽ビジネス学科開設)
1989 (平成 1) 年	東京音楽音響ビジネス専門学院を「東京音楽音響ビジネス専門学校」に改称
1990 (平成 2) 年	尚美学園短期大学に情報コミュニケーション学科開設 皇太子殿下、尚美学園バリオホールに行啓、音楽会を鑑賞
1991 (平成 3) 年	東京コンセルヴァトアール尚美と東京音楽音響ビジネス専門学校を統合
1998 (平成 10) 年	東京コンセルヴァトアール尚美を「専門学校東京ミュージックアンドメディア アーツ尚美」に改称
2000 (平成 12) 年	尚美学園大学を開学 (総合政策学部・芸術情報学部) アメリカ・南カリフォルニア大学 (USC) シネマ・テレビジョン学部と提携 フジテレビジョンフォーラムにて SHOBI&USC 提携記念「国際映画放送カン ファレンス 2000」を開催
2003 (平成 15) 年	専門学校東京ミュージックアンドメディアアーツ尚美 新本館完成
2004 (平成 16) 年	尚美学園大学大学院総合政策研究科 開設
2006 (平成 18) 年	尚美学園大学大学院芸術情報研究科 開設
2007 (平成 19) 年	尚美学園大学総合政策学部ライフマネジメント学科 開設
2010 (平成 22) 年	専門学校東京ミュージックアンドメディアアーツ尚美を「尚美ミュージックカ レッジ専門学校」に改称
2013 (平成 25) 年	尚美学園大学上福岡キャンパスを川越キャンパスに統合

II 尚美学園大学 事業報告

1. 当年度の事業の概要

(1) 学生募集状況

平成 25 年 4 月の入学者は、少子化および他大学との競争などの外的要因もあり引き続き厳しい状況となっている。

厳しい学生募集環境が継続する状況のもと、平成 25 年度はこれまで以上に高校進路指導者との情報交換を積極的に推進し、高校とのパイプ強化を図った。また高校進路指導教員を対象とした説明会を前年度同様、尚美ミュージックカレッジ専門学校と合同で行い学生募集面での相乗的効果を図った。さらに平成 25 年 4 月に統合した川越新キャンパスについて施設設備の積極的な PR 活動を展開しオープンキャンパスへの誘いなどの工夫を行った。

(2) 学部改革について

平成 27 年度芸術情報学部には新学科（音楽応用学科・舞台表現学科）を設置する方針のもと、文部科学省への申請準備とそれに先立つ事前相談を行った。なお総合政策学部については平成 28 年度学部再編をめざし学部内での検討を行っている。また、これまで学部改革に関して、主体的に推進してきた基本教育構想会議については当面の目的を達成したことから平成 25 年度末でその活動を終了した。

(3) キャンパス統合と教育研究環境の整備

平成 25 年 4 月に行ったキャンパス統合は、新年度開始の時期とも重なったため、4 月から 5 月にかけては一部混乱もあったが、教育研究活動に多大な支障を来すまでには至らず学生や保護者の理解と協力により、その後は円滑に学事を進行させた。新たに設置した施設設備は教育研究活動の効果を向上させた。なお、パストラルホールでは秋学期にオープニングコンサートシリーズを開催し、教職員、学生の他、近隣からの一般参加もあり大学の PR に寄与した。

総体的な取組みは、以上の通りである。

2. 諸活動報告

(1) 教育研究活動

- ①日本語スピーチコンテスト
- ②英語スピーチコンテスト
- ③総合政策学部 学生懸賞論文

(2) 学生諸活動

強化サークル

①剣道部

- ア. 第 41 回埼玉学生剣道新人戦大会及び第 39 回埼玉女子学生剣道新人戦大会
男子団体：3 位、女子個人：3 位
- イ. 第 46 回埼玉学生剣道優勝大会及び第 9 回埼玉女子学生剣道優勝大会

男子団体：ベスト 8

女子団体：ベスト 8、女子個人：準優勝、敢闘賞

②サッカー部（男子）

・TOP チーム

ア. 2013 年度総理大臣杯埼玉県予選：優勝

イ. 平成 25 年度彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会：準優勝

ウ. 第 46 回埼玉県大学サッカーリーグ戦 1 部：1 位

エ. 関東大学サッカー大会：予選リーグ敗退

オ. アミノバイタルカップ 2013 埼玉県予選：優勝

・クラブ フェニックス

ア. 平成 25 年度埼玉県社会人サッカー 1 部リーグ戦：6 位

イ. 平成 25 年度川越市社会人サッカー市民体育大会：優勝

③サッカー部（女子）

ア. 第 22 回 全日本大学女子サッカー選手権大会（インカレ）：ベスト 8

イ. Liga student 2013（鹿島ハイツ）決勝大会 結果：8 位

ウ. 第 4 回ブロッサムリーグ（筑波大学・大東文化大学）：4 位

エ. 第 6 回埼玉県会長杯：3 位

オ. 第 27 回関東大学女子サッカーリーグ戦：5 位

カ. 全日本大学女子サッカー地域対抗戦 2013 東関東代表選出：6 名

キ. 全日本大学女子サッカー選抜活動強化メンバー選出：1 名（2 年連続）

④女子硬式野球部

ア. 関東女子硬式野球ヴィーナスリーグ戦：1 位

イ. 第 9 回全日本女子硬式野球選手権大会：ベスト 8

ウ. 第 3 回全国大学女子硬式野球大会 準優勝

エ. 国際野球連盟（IWBF）2012 年表彰選手：最優秀選手賞

オ. スポーツにおける文部科学大臣顕彰：スポーツ功労者顕彰

⑤バドミントン部

ア. 平成 25 年度関東学生バドミントン選手権大会

男子シングルス B：ベスト 32

女子ダブルス B：ベスト 4、女子シングルス B：ベスト 4

イ. 平成 25 年度関東学生バドミントン新人選手権大会

団体戦男子 B：ベスト 4、男子シングルス：ベスト 32

女子ダブルス：ベスト 8、女子シングルス B：1 位、ベスト 8

ウ. 第 15 回埼玉県学生バドミントン大会

男子ダブルス：準優勝、男子シングルス：ベスト 4

女子ダブルス：優勝、女子シングルス：優勝

エ. 第 56 回東日本学生バドミントン選手権大会 女子ダブルス：ベスト 32

オ. 第 64 回全日本学生バドミントン選手権大会 女子ダブルス：出場（2 回戦敗退）

カ. 関東大学バドミントン秋季リーグ戦

男子 3 部 B：5 位 女子 4 部 A：1 位（3 部昇格）

⑥チアダンス部

- ア. IASF TheDanceWorlds2013 : 8 位
- イ. USANationals School&College Nationals2014 大学編成 Pom-Small 部門 : 1 位
- ウ. USA School&College Competition 2013Pom 部門 : 2 位、Jazz 部門 : 3 位
- エ. Asia Open Cheerleading Championship : 4 位
- オ. 全日本学生チアダンス選手権 (JCDA) CheerDance 部門大学生編成 : 3 位

⑦新・音楽集団「匠」

- ア. さいたまシティオペラ「ヘンゼルとグレーテル」出演
- イ. パストラルホール柿落とし「第九」出演
- ウ. 里山讃歌音楽祭出演
- エ. ふじみ野市ワンコインチャリティコンサート出演
- オ. BS-TBS「日本名曲アルバム」出演

コンクール・オーディション合格・受賞等

- ①シアターグリーン学生芸術祭 Vol.7 : 最優秀賞
- ②道頓堀学生演劇祭 2014 : 最優秀劇団賞、ザ・プラン 9 賞 (特別賞)、優秀演出賞、優秀フライヤー賞、ダンスパフォーマンス賞
- ③第 98 回二科展 彫刻の部 : 入選
- ④2013 アジアデジタルアート大賞エンターテインメント部門 : 優秀賞
- ⑤第 3 回学生映画コンクール制作部門の部 : 準佳作
- ⑥第 18 回さいたまホームページコンテスト 2013 : 優秀賞
- ⑦西武園競輪ポスターデザイン学生公募 : 最優秀賞、優秀賞
- ⑧第 13 回特定ラジオマイク利用者連盟功績賞学生部門 : 審査員奨励賞

(3) 交流事業

- ① 2 音大クラシック・コンサート
- ② 音楽交流演奏会 (韓国 京福大学校)
- ③ CPIT 海外短期研修
- ④ 大林宣彦と語る高校生映像フェスティバル
- ⑤ 留学生社会見学
- ⑥ 企業交流会

(4) 研究助成、補助金等

- ① 学術研究助成基金助成金
- ② 私立大学経常費補助金

3. 主な予算執行

(1) 学園・大学に関する的確な情報発信

教育交流、大学の教育情報等の発信、パブリシティ等
募集資料、進学相談会、高校内ガイダンス等

大学ホームページの運用 他

(2) 教育環境整備

造形工房の新設

ピアノの更新

スタジオの機材

CG 演習室 PC

サーバーの更新

視聴覚室プロジェクター

(3) 教育の充実に向けた取組み

授業アンケート、

卒業制作、演奏会《※1》、イベント《※2》参加等

《※1》 フィガロの結婚

音楽表現学科第 10 回定期演奏会

バリー・ハリス レクチャー&コンサート

日野皓正 特別講義

小原孝 公開講座

アレクサンダー・イェンナー 特別レッスン

大島ミチル 特別講義

音楽表現学科卒業演奏会 他

《※2》 東京ゲームショウ

奨学金費 [震災特別減免を含む]

学生団体活動助成 [学友会・強化サークル]

研究費

(4) 教育研究の目標に定める『育成する人材像』に沿った社会に期待される人材の輩出

学内企業説明会・各種講座実施 他

(5) 地域に貢献する学園作り

自治体、関連団体との共同事業

高校生映像フェスティバル

(6) 卒業生・父母などステークホルダーに愛される学園づくり

大学後援会との連携事業 [地区別懇談会 他]

学報発行・送付

(7) 大学運営の核となる教職員の育成と組織整備

研修参加費等

Ⅲ 尚美ミュージックカレッジ専門学校 事業報告

1. 当年度の事業の概要

(1) 教育方針と教育実践活動

本学ではパーソナル教育、実践教育、コラボレーション教育の「3つの教育ポリシー」を軸に学生の成長をサポートしている。

3つの教育ポリシーを通じた質の高い技術教育が本学の特徴である。学生は授業やレッスンで磨いた技術から業界レベルの質の高いステージづくり、作品づくりを行っている。

それらによって"感動体験"を積み重ねることにより、コミュニケーション能力や人を信じる力、そして生きていく力強さが育まれる。

平成25年度もこのような教育実践活動として、年間200以上もの学科における行催事が実施された。その中でも外部機関との連携による事業、または広く社会に向けて発信した事業を抜粋した。

ヴォーカル学科	文京区主催レッドリボンコンサートの制作・出演
プロミュージシャン学科	『GET MUSIC X』CD制作
ポップスコンテンポラリー学科	大学ビッグバンドジャズフェスティバルin川越
アレンジ・作曲学科	Ustream番組制作・放映
ミュージックビジネス学科	『世界を変える80年代生まれの起業家』出版（スペースシャワーボックス） ※特別講座「起業という選択」とのコラボレーション
音響・映像学科	第4回すみだストリートジャズフェスティバル スタッフ
ダンス学科	オープニングセレモニー（昭和記念公園レインボープール）
ミュージカル学科	2013大分七夕祭り
声優学科	朗読会『思い出のサダコ』横浜美術館及び旭丘高校
ピアノ学科	横山幸雄講座 受講者によるコンサート
電子オルガン学科	ステージエコフリーマーケット 年5回
管弦打楽器学科	第2回尚美&シエナウィンドオーケストラ合同演奏会
音楽総合アカデミー学科	新時代のビジネスフォーラムvol.8
選抜学生	文京区主催 シビックコンサートへの出演 年5回

(2) 教育環境の整備について

① バリオホールのメンテナンス

- ・照明装置（ピンスポットライト、調光ユニット）
- ・無停電バッテリー交換
- ・床、階段、絨毯修理
- ・収納庫の扉修理

② スタジオブーカのメンテナンス

- ・舞台修理
- ・メインスピーカー4台の修理
- ・楽屋防カビ塗装

③ 防災設備のメンテナンス

- ・非常用放送設備修理
- ・スプリンクラー交換

④ 空調設備修理

- ・本館、3号館

- ⑤建物補修
 - ・1、2、4号館
- ⑥電気室 PCB 廃棄物処理
- ⑦折りたたみ椅子入れ替え
- ⑧パソコン購入
 - ・アレンジ作曲学科 M703 教室、M508 教室他
- ⑨教室端末ソフト更新
- ⑩ネットワーク増設

(3) 学生募集状況について

平成 25 年度はこれまでの施策に加え新たな募集プランを取り入れて募集活動を行った。

2. 諸活動報告

(1) コンクール入賞抜粋

- ①第 5 回 日本管打・吹奏学会 1 位作曲賞 主催;一般社団法人 日本管打・吹奏楽学会
(音楽総合アカデミー学科 4 年生 作曲コース)
- ②第 2 回学生のための電子オルガンによる作品コンテスト編曲部門 主催;YAMAHA
優秀賞及び Net オーディエンス賞
(音楽総合アカデミー学科 2 年生 電子オルガンコース)
- ③小澤征爾音楽塾オーケストラオーディション 合格 主催;小澤征爾音楽塾
(音楽総合アカデミー学科 3 年生 管弦打楽器コース トランペット)
- ④第 25 回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 2 位 (1 位なし)
(管弦打楽器学科 2 年生 Sax.)
- ⑤宮日音楽コンクール 優秀賞
(管弦打楽器学科 2 年生 打楽器)

(2) 就職先抜粋

- ①ソニーミュージックアーティスト
- ②五木プロモーション
- ③オスカー
- ④スーパーテレビジョン
- ⑤キョードーファクトリー
- ⑥ポニーキャニオンアーティスト
- ⑦ホリプロコム
- ⑧ソニースタジオ
- ⑨東京舞台照明内定
- ⑩アニメイト
- ⑪松竹芸能
- ⑫レコード特信
- ⑬ジャパンミュージックシステム
- ⑭SHIBUYA BURROW
- ⑮シグマコミュニケーションズ
- ⑯中央舞台サービス内定
- ⑰フジキャリアデザイン
- ⑱総合舞台
- ⑲宮地楽器

⑩DeNA

(3) デビュー抜粋

- ①ガールポップユニット「Ring Trip」メジャーデビュー 所属;JTB ミュージック
(ヴォーカル学科 2年生)
- ②大宮アルディージャ (キャラクター)
(ミュージカル学科 2年生)
- ③西武ライオンズ・ブルーレジェンズ
(ミュージカル学科 2年生)
- ④ディズニーシー・ダンサー
(ミュージカル学科 2年生)
- ⑤劇団四季研究生
(ミュージカル学科 2年生)
- ⑥川崎市消防音楽隊 (カラーガード)
(ミュージカル学科 2年生)
- ⑦音楽座団員
(ミュージカル学科 2年生)
- ⑧ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (キャラクター)
(ミュージカル学科 2年生)
- ⑨劇団イツ・フォーリーズ
(ミュージカル学科 2年生 3名)
- ⑩タレントプロダクション・アイビィーカンパニー
(ダンス学科 2年生 2名)
- ⑪ディズニーシー・ダンサー
(ダンス学科 2年生)
- ⑫ユニバーサル・スタジオ・ジャパン・ダンサー
(ダンス学科 2年生 2名)

(4) 声優所属劇団 (研究生含む) 抜粋

- ①株式会社プロフィット
- ②東京ドラマハウス
- ③ミツヤプロジェクト
- ④アトミックモンキー
- ⑤劇団俳協
- ⑥ネクシード株式会社
- ⑦劇団テアトル・エコー
- ⑧C&O アクターズスタジオ
- ⑨劇団若草
- ⑩株式会社ムーブマン
- ⑪マウスプロモーション
- ⑫株式会社シグマセブン
- ⑬ゆーりんプロ
- ⑭プロダクションエース演技研究所
- ⑮スターダス・21 カンパニー

3. 主な予算執行

(1) 教育の向上

各学科が育成する人物像をより明確にし、カリキュラム、科目、教員を見直し、外部から見ても

分かりやすく、魅力ある学科の構築を推進した。

①特別講師による最先端教育

音楽・パフォーマンス・エンタテインメントプロデュースの各分野でオピニオンリーダーとして名高い方を学校の特別講師として委嘱し、最先端の知識、スキル、情報の習得を図るための授業、レッスン、特別講座を実施した。

②優秀者指導の実施

各学科の優秀者に対して、更なるレベルの向上を図るための特別指導を実施した。

③音楽ビジネス業界フォーラムの開催

音楽ビジネス業界のフォーラムを今年度も開催し、業界の視野を広げるとともに、これからの音楽業界に向けて情報を発信した。

・平成 25 年 10 月 27 日

新時代のビジネスフォーラム Vol.8

「ミュージックビジネスの現状とこれからの展望について」

④教育成果の発表・発信

学科、学生の教育成果を公演、発表会、イベント、イベント制作、メディア制作等にて学外、学内に広く発表、配信した。全学科の年間合計イベント数は 200 本。数多くのイベントで学生の満足度とプロ意識の向上を図った。

⑤SHOBI インターネットテレビの配信

学生の演奏会・作品制作のメイキング・学科独自の番組を SHOBI インターネットテレビ、Ustream で配信して、外部へ広く公開し、学科及び学生の PR の拡大を図った。

⑥デビューセンターを活用したメジャーデビュープロデュース

デビューセンターが運営する学内オーディション「S-1」開催と在校生のデビュープロデュースを実施した。

・「S-1」オーディションを 1 回実施した。

・最優秀者 該当なし

・優秀賞 3 組

優秀賞の 3 組は、iTunes、Amazon などからシングル配信デビュー予定

⑦学科独自の業界オーディション実施

オーディションに向けた対策講座の開催、模擬オーディションの開催から、学生のみを対象とした学科独自の業界オーディションを、業界から審査員を招聘して実施した。

⑧地域、企業と提携した演奏会・発表会

地域・企業と提携した演奏会・発表会を実施した。

ア. 文京区シビックコンサート

イ. 文京朝顔・ほおずき市運営協力・演奏

ウ. 文京カレッジコンサート参加

エ. 本郷防火の集い参画

オ. 湯島天神梅祭り出演

カ. 豊島区コミュニティーダンス参画

キ. 企業提携演奏会等 2 件

(2) 学生支援

- ①奨学金
- ②クラス単位での研究、懇親のためのクラス運営費
- ③資料室整備、ナクソスミュージックライブラリー運営費
- ④キャリアセンターの社会資格・就業支援プログラム講座等の運営費
- ⑤国際交流センター運営費（留学生のフォロー）
- ⑥在校生のための福利厚生の充実

(3) 教育環境の整備・充実

- ①施設
 - ア．教室配線工事
 - イ．空調設備更新
 - ウ．防音設備改修
 - エ．内装塗装工事
- ②教育機器
 - ア．PC 教室：PC 及びソフト更新
 - イ．ステラスタジオ：音響機器更新
 - ウ．管楽器、打楽器（マーチング用含む）の更新
- ③ネットワークシステムの維持、整備
 - サーバホスティング、インターネットサービス、サーバ保守、基幹ネットワーク保守、LAN 運用保守、教室 PC メンテナンス、コンピュータウィルス対策、教職員 PC 更新 他
- ④管理維持
 - 電気、水道、ガス、施設保守、清掃委託、運搬、教育用・事務用消耗品 他

(4) 広報・学生募集

(5) 募集強化プラン

(6) 教職員研修

(7) 1、3号館改築に伴う借用校舎の整備

- ①教室・レッスン室改修工事、賃借に関わる敷金及び賃料
- ②空調設備工事、通信設備工事
- ③移設に関わる費用 他

IV 設備の状況

1. 主要な設備の状況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区 分		面積又は数量	帳簿価額
土地	大学	136,455.24 m ²	5,419 百万円
	専門学校	2,903.30 m ²	4,421 百万円
	計	139,358.54 m ²	9,840 百万円
建物	大学	40,023.14 m ²	8,012 百万円
	専門学校	15,199.19 m ²	4,764 百万円
	計	55,222.33 m ²	12,777 百万円
教具校具及び備品	大学	3,003 点	455 百万円
	専門学校	2,098 点	140 百万円
	計	5,101 点	595 百万円
図書	大学	187,838 点	653 百万円
	専門学校	12,935 点	53 百万円
	計	200,773 点	706 百万円

※全ての金額について百万円未満を切り捨て処理している為、合計は一致しない場合があります。

V 財務の概況

1. 資金収支計算書

(単位：千円)

収 入 の 部	
科 目	当 年 度
学生生徒等納付金収入	5,021,586
手数料収入	28,981
寄付金収入	69,279
補助金収入	251,877
資産運用収入	40,324
資産売却収入	2,292,005
事業収入	13,590
雑収入	127,887
借入金等収入	0
前受金収入	2,831,285
その他の収入	318,602
資金収入調整勘定	△ 3,217,931
前年度繰越支払資金	5,833,967
収 入 の 部 合 計	13,611,456
支 出 の 部	
人件費支出	2,737,083
教育研究経費支出	1,245,643
管理経費支出	1,134,394
借入金等利息支出	6,526
借入金等返済支出	200,000
施設関係支出	100,456
設備関係支出	94,984
資産運用支出	188,186
その他の支出	1,159,450
資金支出調整勘定	△ 488,478
次年度繰越支払資金	7,233,208
支 出 の 部 合 計	13,611,456

※全ての金額について千円未満を切り捨て処理している為、合計は一致しない場合があります。

2. 消費収支計算書

(単位：千円)

消費収入の部	
科目	当年度
学生生徒等納付金	5,021,586
手数料	28,981
寄付金	75,286
補助金	251,877
資産運用収入	40,324
資産売却差額	365,831
事業収入	13,590
雑収入	127,887
帰属収入合計	5,925,365
基本金組入額合計	0
消費収入の部合計	5,925,365
消費支出の部	
人件費	2,733,856
教育研究経費	1,825,421
管理経費	1,173,198
借入金等利息	6,526
資産処分差額	2,788,790
徴収不能引当金繰入額	36,474
消費支出の部合計	8,564,267
当年度消費支出超過額	2,638,901
前年度繰越消費支出超過額	4,709,777
基本金取崩額	5,651,906
翌年度繰越消費支出超過額	1,696,771

※全ての金額について千円未満を切り捨て処理している為、合計は一致しない場合があります。

3. 貸借対照表

(単位：千円)

資産の部	
科 目	当年度末
固定資産	26,033,527
流動資産	7,656,760
資産の部合計	33,690,287
負債の部	
固定負債	1,087,015
流動負債	3,569,382
負債の部合計	4,656,397
基本金の部	
第1号基本金	30,283,661
第4号基本金	447,000
基本金の部合計	30,730,661
消費収支差額の部	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 1,696,771
消費収支差額の部合計	△ 1,696,771
負債の部,基本金の部及び消費収支差額の部合計	33,690,287

※全ての金額について千円未満を切り捨て処理している為、合計は一致しない場合があります。